

人間ドック、検診分野



CT

- 肺ドック
低線量CT
線量管理を定期的に
施行。

- 簡易脳ドック
検査部位：頭部、
頰椎、頭MRA、
頰部MRA



MRI



マンモ装置



超音波装置

- 人間ドック
肝臓、胆嚢、膵臓、
腎臓を中心に検査。
被ばくはない。

- 人間ドック
胃の検査は、内視鏡
またはバリウムを使用する透視検査の選
択が可能。



透視装置

- 横浜市検診

高度医療機器の共同利用



CT

装置：320列と64列の2台。
あらゆる撮影を短時間で撮影、
高速画像処理により救命救急
センターの対応に貢献してい
る。肺ドックについても低線
量化を実現しており、被ばく
線量の管理は定期的に行っ
ている。



MRI

装置：3.0Tと1.5Tの2台。
放射線を使用せず磁力と高周
波電波で検査ができる装置。
撮影する部位によっては造影
剤無しで血管描出も可能。ま
た被ばくが無い検査なので女
性骨盤や小児の撮影に向いて
いる。



核医学

装置：SPECT装置1台。
ラジオアイソトープを使った
検査。認知症検査には欠かせ
ない。

画像診断と治療

治療

- アブレーション治療
- コイリング治療

- PTCD治療

- I-131甲状腺治療

- 骨塩定量
骨粗鬆症診断

- 長尺システム
全脊椎、全下肢撮影時使用
デジタル化により検査時間
の短縮

- フィブロスキャン
肝臓の硬さを数値化

特殊診断

